|  |
| --- |
| 更新用 |

　　　　　　 特定非営利活動法人

日本歯周病学会専門医制度

**指導医生涯研修記録簿**

**（令和7（2025）年1月24日更新）**

|  |  |
| --- | --- |
| 指導医氏名 |  |
| 指導医登録番号 | 第　　　　　号 |
| 指導医登録年月日 | 平成　・　令和　 (西暦 　　　)年　　月　　日　　　 |
| 指導医登録期限 | 平成　・　令和　 (西暦 　　　)年　　　　　月　　日まで |
| 専門医登録期限 | 平成　・　令和　 (西暦 　　　)年　　　　　月　　日まで |
| **□** | （臨床実績提出免除の確認）専門医登録後、20年以上経過している方はチェックをして下さい |

資格認定のための研修の指針

　特定非営利活動法人日本歯周病学会専門医制度では、生涯にわたって研修を継続することが　義務づけられています。指導医は、日本歯周病学会指導医制度施行細則第2条および同条附表3に示された研修単位の加算により、5年間に学会出席（日本歯周病学会：60単位、および日本歯科専門医機構「共通研修」：毎年度2単位×5年＝10単位）、業績発表（20単位）、ならびに臨床実績（5症例以上、合計500単位以上）を各々取得することが義務づけられています。

　この研修記録簿は、資格更新申請時の資料となります。研修の都度、各自でご記入の上、大切に保存しておいてください。

（参考資料）

指導医の更新

　指導医の資格の有効期間は5年間である。したがって，引続き認定を希望する者は，5年毎に認定の更新をしなければならない。

(1) 更新の基準

更新を行うには，附表3の単位基準に基づき，5年間に研修会出席（日本歯周病学会分：60単位、ならびに日本歯科専門医機構「共通研修」分：毎年度2単位×5年＝10単位）、および業績発表（20単位）の研修が必要である｡(施行細則第2条)。海外留学や病気など止むを得ない理由で所定の研修が受けられないときは，事前に専門医委員会の承認を得て、その理由がなくなり研修が終わったとき申請すること。（施行細則第4条）

(2) 更新の手続

　　ア．更新手数料33,000円（税込）をオンライン決済で納入する。

　　イ．次の書類を歯周病専門医審査委員会へ提出する。（施行細則第3条）

①　上記ア．の受領書のコピー

　　　②　歯周病専門医更新申請書

　　　③　歯周病専門医生涯研修記録簿

　　④　発表等の証明（コピー）

　　⑤　歯周病専門医認定証の写し（コピー）

　　⑥　臨床実績

(3) 更新申請の時期

更新申請者は認定失効期日の半年前から書類の提出を行うことができる。(施行細則第3条2項)

注）ニュースレターまたは学会ホームページにて、制度規則・更新申請受付期間・更新申請料振込先を更新申請前に確認してください。

認定資格の喪失（規則第9条）

　次に記す何れかの項に該当するとき，資格を喪失する。

(1)　本人が資格の返上を申し出たとき。

(2)　資格が更新されなかったとき。

(3)　その他、理事会が指導医として不適当と認めたとき。

附表3

**更新時生涯研修単位**

**【日本歯周病学会分】**

研修会出席：合計60単位以上とする。ただし、1の3）を2回以上受講しているものとする。

業績発表：合計20単位以上とする。

1 研修会出席(1回出席あたりの単位，出席したことを証明する参加章等のコピーが必要)

単位数

|  |  |
| --- | --- |
| 1)本学会学術大会 | 10 |
| 2)本学会臨床研修会 | 10 |
| 3)本学会認定医・専門医教育講演(更新時毎に2回以上の出席が必要) | 10 |
| 4)本規則第10条第2項(1)に定める関連学会の学術大会および研修会 | 10 |
| 5)本規則第10条第2項(1)に定める関連学会の支部教育研修会 | 7 |
| （ただし、1年間7単位を上限とする） |  |
| 6)日本歯科保存学会 | 7 |
| 7)日本歯科医学会総会 | 5 |
| 8)米国歯周病学会(AAP) | 10 |
| 9)専門医委員会が認めた歯周病に関する学会および研修会 | 7 |

ただし， 9)については，1年間7単位を上限とする。

2　業績発表**(発表したことを証明する学会・研修会プログラムや講義を行ったという証明などのコピーが必要)**

単位数

|  |  |
| --- | --- |
| 1)上記の学会または研修会での演者(1回あたり) | 10 |
| 2)上記学会の会誌またはその他の学術雑誌への投稿論文筆頭者(1回あたり) | 10 |
| 3)1)，2)の共同発表者 | 5 |
| 4)著書(歯周病学に関連のある著書1冊あたりの単位) |  |
| ①筆頭者 | 10 |
| ②共同著者 | 5 |
| 5)大学，歯科医師会または研修会での歯周病に関する発表 | 5 |
| 6)大学や歯科衛生士学校などの教育機関における歯周病に関する講義 | 5 |
| （1回あたり、講義を行った事を証明する書類、または主任教授の証明書が必要。ただし，教育機関常勤者は単位算定対象から除外する。） |  |
| 7）大学や歯科衛生士学校などの教育機関における歯周病に関する基礎実習 | 5 |
| （1年度1回に限る。実習指導を行った事を証明する書類、あるいは主任教授の証明書が必要。ただし，教育機関常勤者は単位算定対象から除外する。） |  |

**【日本歯科専門医機構「共通研修」分】**

申請時に下記を満たしているものとする。必修項目・選択項目の単位、ならびに経過措置等は日本歯科専門医機構の定めによるものとする。出席したことを証明する参加章等のコピーが必要。

**提出時点で単位の充足が困難な場合は「受講予定」と記載しご提出ください。**

**なお、「受講予定」と記載した場合、受講後直ちに事務局までご連絡ください。**

**受講証明書等をメールにてご提出をお願いいたします。**

|  |  |
| --- | --- |
| 令和6年度以降申請 | 申請年度より遡って過去5年間で毎年2単位、合計10単位。この10単位には研修区分①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済の受講歴が各1単位、含まれていること。 |

１．　研修会（学術集会・研究会・講演会等）出席記録

**※学術大会時に教育講演も受講した場合、一つの欄にまとめて記載して下さい。**

**※出席証明として参加証・受講証明書等のコピーを添付して下さい。なお、コピーには番号を付けて下さい。**

|  |
| --- |
| **①日本歯周病学会分（学術大会、認定医・専門医教育講演等）** |
| 研修会名 | 主催者名 | 期　　日 | 単　位 | ※受講証明等添付ｺﾋﾟｰ№ |
| 記載見本第64回春季学術大会、ならびに認定医・専門医教育講演 | 日本歯周病学会 | 2021年5月21日～6月22日 | 10+10 | ① ② |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合計単位数 |  |

受講証明等、コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

|  |
| --- |
| **②日本歯科専門医機構「共通研修」** |
| **【COVID-19感染拡大による特例措置（2025年1月現在）】**特例1：同一開催期間に受講できる共通研修の受講は2単位が上限ですが、機構主催の共通研修のみ、受講年度に拠らず、過年度分の不足分として充当が可能です。特例2：機構主催以外の共通研修については2020-2022年度分のみ、受講年度に拠らず過年度分の不足分として充当が可能です。また、主催団体の会員資格も不問です。（2023年度以降は主催団体の会員資格を有することが単位認定の条件として追加されています） |
| 研修区分 ①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済 | 受講年度 | 受講期日 | 研修会名 | 主催者名 | ※受講証明等添付ｺﾋﾟｰ№ |
| 単位累計 | **①**必須 | **②**必須 | **③**必須 | **④**必須 | **⑤**必須 | ※年度：4月1日～3月31日を指す |
| 記載見本 |  |  | **〇** |  |  | 2021 | 2022年1月20日～3月18日 | 医療安全委員会企画講演（オンデマンド開催） | 日本歯周病学会 | ③ |
| **1単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **2単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **3単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **4単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **5単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **6単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **7単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **8単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **9単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| **10単位目** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 〇の合計 |  |  |  |  |  | ←〇の個数を数値で記載願います |
| **１つ以上** | **１つ以上** | **１つ以上** | **１つ以上** | **１つ以上** |



※共通研修は「日本歯科専門医機構が承認しているもの」のみとなります。

対象となる研修は右記よりご確認ください。　　https://jdsb.or.jp/training.html

日本歯周病学会主催分は次ページをご参照ください。

【確認欄】　※確認したらチェックをつけてください。１）・２）、3）、ならびに4）にチェックがつけば要件を満たしております

□　１）①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済の共通研修受講歴が１回以上あること

□　２）2025年度までに共通研修受講歴が10回（10単位）あること　※受講予定申告を含む

□　３）同一開催期間で３回（３単位）以上の共通研修受講歴がないこと

→ある場合、特例の確認

　□　３－特例）機構主催共通研修を１度に３回（３単位）以上受講している

□　４）年度（4月1日～3月31日）毎に共通研修受講歴が２回（２単位）あること

→ない場合、特例の確認

　□　４―特例）2020～2023年度の共通研修受講不足分を2024年度までに受講し、共通研修受講歴が2024年度分を合算して合計で10回（10単位）あること。過年度分で余剰となった受講歴がある場合、翌年度に充当していないこと。

**（参考）承認済の日本歯周病学会開催分「歯科専門医共通研修」一覧**

| **年度** | **演題** | **演者名** | **開催時期** | **研修区分** | **単位数** |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2020 | 第63回秋季:認定医・専門医教育講演日常臨床におけるデータ収集と管理の重要性 | 辰巳順一 | 2020年10月16日～11月30日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| 第63回秋季:倫理委員会企画講演研究倫理・規制の最新動向と歯科医療に必要な留意点 | 栗原千絵子 | 2020年10月16日～11月30日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| 2021 | 第64回春季:倫理委員会企画講演倫理申請する側と倫理審査する側に求められるもの | 岸　光男 | 2021年5月21日～6月22日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| 第64回春季:認定医・専門医教育講演｢これからの医療安全｣に向けて,もう一歩踏み込む,もう一度見直す ～｢ヒューマンエラー｣｢バイアス｣｢RCA（根本原因分析）｣,そして｢確認｣～ | 鮎澤純子 | 2021年5月21日～6月22日 | ③医療安全(旧課程Ⅰ②) | １ |
| 第64回秋季:倫理委員会企画講演研究倫理★日本歯科専門医機構の指導により講演タイトルを「学会員のための倫理申請」から「研究倫理」に変更し、発行される受講証明書も同様となっております。当初のプログラム名と講演名が異なりますが、受講証明書の取得単位は有効となっておりますのでご安心ください。 | 佐藤秀一 | 現地開催2021年10月16日WEB配信期間2021年11月1日～11月30日 | ①医療倫理(旧課程Ⅰ①) | １ |
| オンデマンド開催：医療安全委員会企画講演「医療の質と安全管理」を見つめ直す －ノンテクニカルスキルからレジリエンスエンジニアリングまで－ | 河口浩之 | 2022年1月20日～3月19日 | ③医療安全(旧課程Ⅰ②) | １ |
| 2022 | 第65回春季:医療安全委員会企画講演患者安全の全体像と展望 | 長尾能雅 | 現地開催2022年6月4日WEB配信期間2022年6月20日～7月27日 | ③医療安全 | １ |
| 第65回秋季:医療安全委員会企画講演サイレントパンデミック時代を迎えて | 大毛宏喜 | 現地開催2022年9月2日(医療)2022年9月3日(倫理)WEB配信期間2022年9月20日～10月24日 | ④院内感染対策 | １ |
| 第65回秋季:倫理委員会企画講演人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の内容と2022改正 | 高島響子 | ①医療倫理 | １ |
| 2023 | 第66回春季: 大会校企画講演「院内感染対策」 | 村上圭史 | 現地開催2023年5月26日(大会校)2023年5月27日(医療)WEB配信期間2023年6月20日～7月20日 | ④院内感染対策 | １ |
| 第66回春季:医療安全委員会企画講演患者・医療者間の信頼関係の構築に向けてー対人コミュニケーションの視点からー | 吉田登志子 | ②患者・医療者関係の構築 | １ |
| 第66回秋季:倫理委員会企画講演歯科医師・歯科医療に関わる法規の概要と特徴 | 大室俊三 | 現地開催2023年10月14日WEB配信期間2023年11月1日～30日 | ⑤医療関連法規・医療経済 | １ |
| 2024 | 第67回春季:医療安全委員会企画講演ヒューマンエラー防止の心理学 | 重森雅嘉 | 現地開催2024年5月25日WEB配信期間2024年6月18日～7月17日 | ③医療安全 | １ |
| 第67回秋季:倫理委員会企画講演医療倫理と職業倫理 | 福島 統 | 現地開催2024年10月4・5日WEB配信期間2024年10月30日～11月28日 | ①医療倫理 | １ |
| 第67回秋季: 大会校企画講演病い概念とユマニチュードからみる医療者・患者コミュニケーション | 大島寿美子 | ②患者・医療者関係の構築 | １ |
| 第67回秋季: 大会校企画講演歯科医師の説明義務と患者の同意 | 千葉華月 | ⑤医療関連法規・医療経済 | １ |

　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

**2単位目**

**1単位目**

**4単位目**

**3単位目**

受講証明等、コピー添付欄

　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

**6単位目**

**5単位目**

受講証明等、コピー添付欄

**8単位目**

**7単位目**

　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

**10単位目**

**9単位目**

　２．業績発表

　 (1)　学会発表

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 演題名 | 学会名 | 発表年月日 | おもな共同研究者の所属と氏名（１名） | 単　位 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
| 合計単位数 |  |

**※学会発表をした場合は、抄録等(発表者名の記載のあるもの)のコピーを添付して下さい。**

コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

(2)　論文・著書

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 論文・著書題名 | 発表雑誌又は書名 | 　巻号　頁 | 出版社 | 出版年月日 | 単著・分担・共著（おもな共同著者１名） | 単　位 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 合計単位数 |  |

**※論文･著書を執筆した場合は、執筆者氏名の明記のあるページのコピーを添付してください。**

コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）

　(3)　講　義

※令和4（2022）年4月1日より、教育機関常勤者は単位算定対象外となります。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 講義名（または内容） | 会場名（対象人数） | 講義年月日 | 単　位 |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合計単位数 |  |

**注：講師依頼状・講義レジュメ・抄録等、申請者が講義されたと証明できる資料を添付してください。**

コピー添付欄

　　（大きな物は縮小コピーにして下さい。）